

いちさんまる
スマイル130プロジェクトの展開について

「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を（県外、世界に）届ける」を活動のコンセプトとした、「スマイル130プロジェクト」を全庁的に進めていくこととしましたのでお知らせします。

1 プロジェクトの目的・コンセプト

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を（県外、世界に）届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、**岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進**する。

【背景】

平成25年度当初予算編成過程において、大阪府から県土整備部に応援に来ていた職員が中心となって、「復興を進めるうえで、130万県民全てが笑顔になるよう、県民の意識や心に訴えるような取組を進めよう」という事業の提案があった。この「県民の笑顔のために」というコンセプトは、当該事業だけでなく「いわて県民計画」や「岩手県東日本大震災津波復興計画」の理念に通じるテーマであることから、これを基本コンセプトとした全庁的な取組を進め復興を加速させていこうとするもの。

2 プロジェクトの取組内容

(1) 機軸事業の展開

県の予算事業（ソフト）のうち、プロジェクトの目的・コンセプトに則った展開を図っていくものについて、プロジェクトの「機軸事業」と位置付け、プロジェクトの理念に基づき事業を推進し、復興の一層の加速化を図る。

なお、平成25年6月25日現在で70事業を機軸事業として展開している。（今後、補正予算の都度、事業追加予定。）

○ 機軸事業の取組の例

- 【県民の笑顔のための取組】 いわて三陸復興のかけ橋推進事業費、いわてへの定住・交流促進事業費、被災地こころのケア対策事業費、復興まちづくり推進事業費、いわての復興教育推進支援事業費 等
- 【感謝の笑顔を届ける取組】 いわて情報発信強化事業費、いわて希望の旅誘客促進事業費、いわてブランド再生推進事業費、復興情報発信事業費、国体等開催関連事業費 等

(2) 職員の自発的取組の奨励

機軸事業だけでなく、復興を加速させるため、プロジェクトの目的・コンセプトに沿った職員の自発的取組を奨励し、平成25年6月25日現在で28件の取組を職員の自発的取組として実施している。

今後、年度途中においても、様々な取組を実施していき、復興の加速化に資することが期待される。

なお、職員の自発的取組のうち、予算配分により一層効果的な展開が図られる取組については、必要な予算を配分し取組を支援していく。

（予算配分の目安：1件30万円程度。全体で300万円程度。予算配分する取組は、現在調整中。）

（予算配分する経費例：ボランティアに要する保険料、活動に要する消耗品費、県民との交流会開催等に要する会場使用料 等）

○ 職員の自発的取組の例

- 【県民の笑顔のための取組】 復興スマイルサポーターズ〜つないで創ろう、地域の笑顔〜
花苗の提供等による仮設住宅入居者への支援活動、おでんせ宮古地区!!観光復興☆大作戦、木材を活用した被災地・被災者への支援活動、健康出前講座 等
- 【感謝の笑顔を届ける取組】 食べて発信！三陸応援！〜三陸食情報発信プロジェクト〜、震災語り部養成の取組、がんばっぺし宮古・下閉伊〜地域の元気・魅力発信プロジェクト 等

(3) プロジェクトのシンボルマーク

プロジェクトのシンボルマークについて職員に募集したところ、総数134作品の応募があり、その中から選定したデザインと、県のPRキャラクターであるわんこ兄弟を組み合わせ作成したもの。

今後、プロジェクトの理念の浸透などに活用を図っていく。

